



## 平成27年度広島県緑化ポスター原画コンクール「特選作品」

【小学校の部】



安芸太田町立殿賀小学校2年  
小野松 優 雛 さん

**[審査員講評]**

○妖精や木の实など、作者のアイデアが思い切って生き生きと描かれていて、描いている表情まで思い浮んでくるようなあたたかい作品です。  
○背の高い木に届くようにと妖精が描かれていて、それぞれがいろんな方法で植物を大切にしようとしている姿から、緑化の思いが伝わります。  
○描きたかったんだろうな、楽しそうだな、という気持ちが色彩と構図から素直に伝わってくる作品です。

【中学校の部】

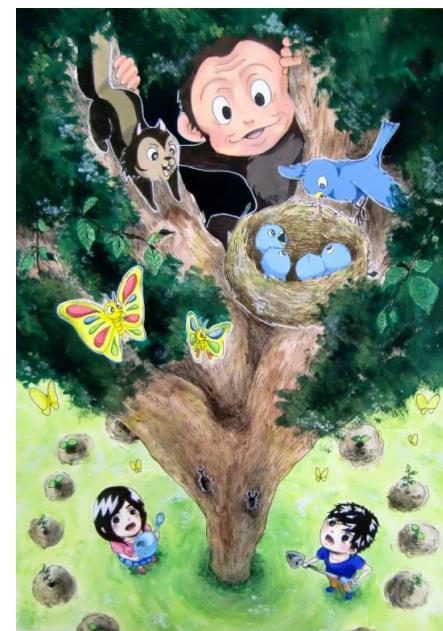


廿日市市立七尾中学校3年  
中国 瑚白 さん

**[審査員講評]**

○緑化ポスターなのに、緑や樹木をたくさん描くのではなく、中心に象を据え構図や色彩が、今までになく斬新です。  
○なぜピンクの象なのか？と目を引き付けておいて、よく見ると象の体にある生き物を、子供たちが一生懸命お世話をするというユニークな近づき方が良いです。  
○背景の青と中心のピンクとそれを囲む白のシャープさがセンスの良い構成になって、まず目を引き付けられます。いろんな工夫がされていて、隅々まで見たくなる作品です。

【高等学校の部】



広島県立熊野高等学校1年  
井手元 咲良 さん

**[審査員講評]**

○木を描くと下からのものが多い中で、上から見ているという視点が面白いです。逆に下に向かって広がりを感じ、絵を描く力があります。  
○葉の緑に深みがあります。葉を少しだけ前に出したり、同じ色味の所には境界線を付けるなど、目立ちすぎず、考えて色を使っています。  
○デッサン力・筆力に優れています。動物や人物は劇画的なのに、木々の緑色は深みのある写実的なものになっています。バランスの良さが、軽いものにはさせてないところが良いです。